

電力自由化時代の需要家サービスシステム

塚本幸辰* 保坂丈世***
 前川隆昭** 長島義明**
 高橋正一*

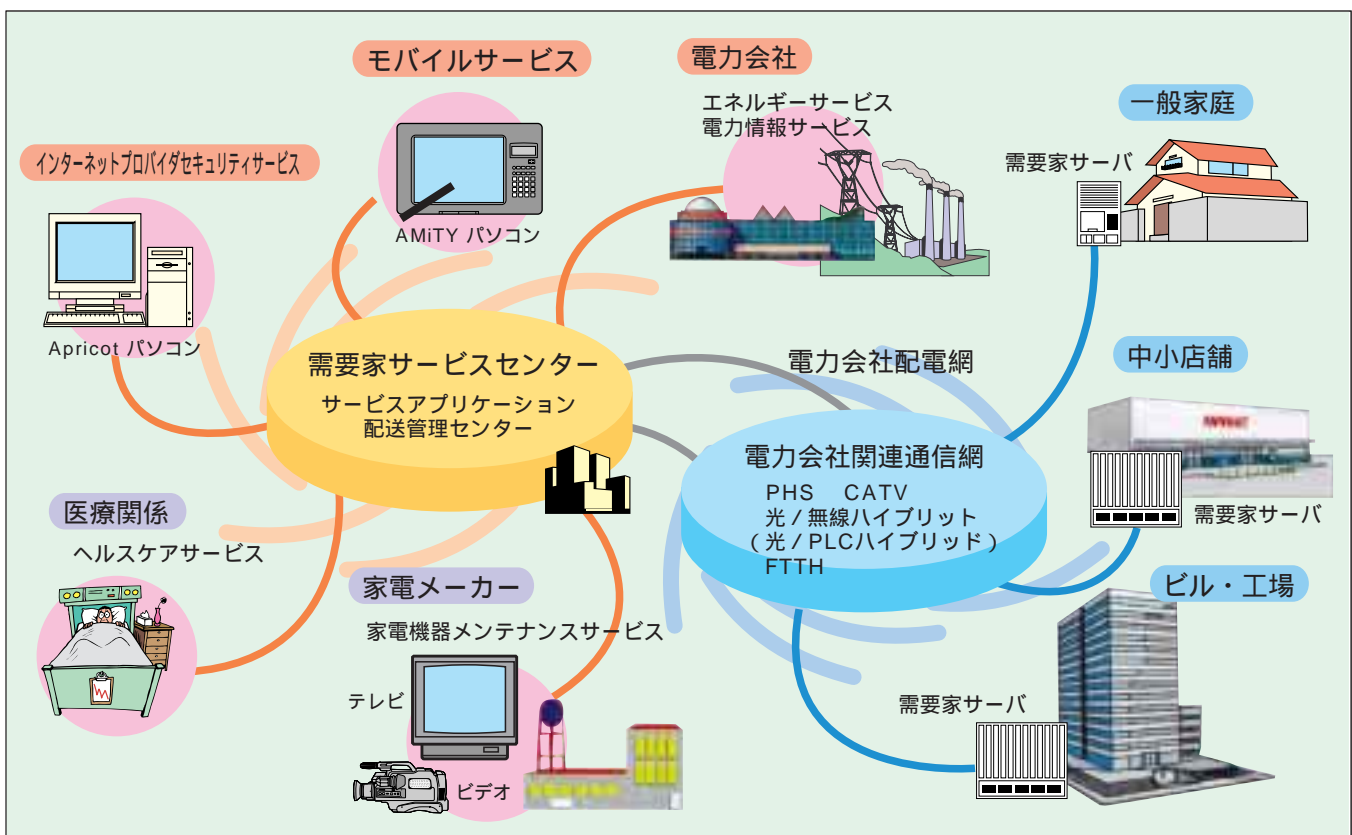
要 旨

エネルギー事業への競争原理の導入に伴い、電力会社やガス会社などの公益企業が需要家への付加価値サービスを向上させることが急務となっている。また、昨今のIT（情報技術）応用分野の急速な普及により、公益企業が行う需要家サービスにもそれを適用し、付加価値の高いサービスを低コストでかつ広範囲に提供することが可能となってきた。

三菱電機では、公益企業が実施する需要家サービス向けに様々なソフトウェアとハードウェア技術を開発している。IT利用による付加価値サービスを提供するためには、各

需要家に設置される需要家サーバや宅内での通信を行うための電灯線搬送技術のほかに、広域系通信インフラとしての通信回線、及び広域系ネットワークミドルウェア、サービスを提供するためのサービス管理センター、各種アプリケーションソフトウェアなど広範囲な製品群が必要となる。

本稿では、需要家サービス事業展開の背景、需要家サービスのシステム概要、及び利用される各種要素技術について述べるとともに、四国電力㈱が進める新ネットワーク事業への適用事例について述べる。



三菱電機の提案する需要家サービスのソリューション

規制緩和に伴う新たな自由競争社会に向かって、需要家向けサービス向上のため、電力会社やガス会社などの公益企業の関連設備、及びITを活用した需要家サービスインフラシステムの構築に貢献する。